

2025年度自己評価表

評価日：2026年2月1日

2023.07.24第三版

項目	番号	内容	評価	実施していること
保育方針の 共通理解と 全体的な計画等の作成	1	保育の理念や基本方針が子どもを尊重したものに なっており、全職員が理解し、実践しているか	A	園内に保育理念・保育方針・スタッフの使命を掲示している。 年度初めの職員会議や研修時に読み合わせや確認をし、周知徹底している。
	2	全体的な計画は基本方針に基づき、子どもの最善 の利益を第一にして作成されているか	A	前年度の見直しをし、職員会議で読み合わせをし、作成している。
	3	日常の保育を通して子どもの意見や意思をくみ取 る努力をし、指導計画に反映させているか	A	子どもの成長を考慮し、計画を柔軟に見直している。言葉で表現できない子 どもの場合などは、気持ちを代弁しながら意思を確認したり安心感が持てる ようにしている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・共通理解を得るために、年度初めに保育理念、保育方針、スタッフの使命について確認後穴埋め等をして確認している。 ・指導計画は子どもの姿を踏まえ上で担任間で話し合いをして立案している。 ・担任以外のスタッフも会議等に参加し意見交換を行っている。 ・毎日振り返りや反省を行い指導計画に反映している。 ・ICTを活用して全スタッフが各クラスの指導計画を閲覧でき、子どもの姿を共通理解することができている。			
【課題・対策】 ・ミーティング等への参加機会が少ないスタッフもいるため、すべてのスタッフを対象に、マニュアルを定期的に確認する機会を設けていく。 ・指導計画では担任間で作成しているため、担任以外の意見も更に反映していけるとよい。 ・主に年度はじめに見直しを行っているため年に数回確認できるとよい。				
子どもの発達や 状況に応じた 適切な援助の実施	4	入園前や入園後すぐに子どもの発達状況や課題 を把握しているか	A	入園児に個人面談を実施し、担任が把握する。重要事項は全職員で共有する。
	5	新入園児受け入れ時の配慮を十分しているか	A	園児の状況に応じ、1週間程度の慣らし保育をおこなう。保護者との情報共 有・交換のために保護者用アプリ「コードモン」の連絡ノート機能でコミュニケー ションを図っている。
	6	子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成して いるか	A	クラス担任が中心となり、作成し、年に数回振り返り・反省を元に見直しを 行っている。保護者の意向も可能な限り反映している。
【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・新入園児の情報は引き継ぎ表にまとめ情報をわかりやすく全スタッフが共有できる仕組みを作っている。 ・新入園児の情報だけでなく、新年度を迎える前には各クラス園児の情報を引き継ぎ表にまとめ新担任と口頭でも内容の確認をしている。 ・園児の様子、保護者の仕事の状況に合わせて慣らし保育を進めている。 ・担任のみならず園内mtgや昼礼などで個々の情報共有を行っている。				
【課題・対策】 ・全スタッフでの把握が課題になる。昼礼ノートや掲示でこまめな発信と視覚的に共有できるようにしていく。				
快適な施設環境の確保	7	子どもが快適に過ごせるような環境への配慮がな されているか	A	各部屋に温湿度計を設置し、チェックをする。毎日清掃・消毒をおこない、清 潔を保つようにしている。
	8	子どもの発達に応じた環境が確保されているか	A	食事や午睡の空間を作っている。異年齢交流、自由保育、コーナー保育など を取り入れている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・園内の環境や各部屋等、より良い環境作りを目指して定期的にミーティング等で話し合っている。 ・机上遊びのスペースを確保しうんどうあそびと分けることで静と動の遊びを選択して過ごせる。 ・パーティションを活用して子どもが落ち着いて過ごせる環境を整えている。			
【課題・対策】 ・コーナー遊びを充実させ、より良い環境に取り組み遊びこめる環境づくりができるとよい。				
一人一人の子どもに 個別に対応する 努力	9	子ども一人一人の状況に応じた保育目標を設定 し、それに合わせた個別指導計画を作成しているか	A	0～2歳児は一人ひとりの状況に応じた個人別の月案を作成している。
	10	子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をし、 その記録があるか	A	成長発達記録・園児健康診断記録表・健康カルテ等、必要書類をコードモン内 に記録をし、全職員で情報共有をしている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・日々の保育の振り返りや月案で状況を把握、共有し一人一人の発達に応じたねらいと配慮を立てている。 ・担任以外の関わりの多いスタッフもクラスミーティングに参加している。 ・ICTを活用して全スタッフが各クラスの指導計画を閲覧でき、子どもの姿を共通理解することができている。 ・年度始めには記録を元に現担任から新担任に引き継ぎを行っている。 ・痙攣や肘内障等配慮すべき既往歴のある園児についてはまとめて誰でもわかるようにしている。			
【課題・対策】 ・日々の保育とは別にお互いを評価しあえる機会が設けられていないため、担任以外のスタッフが保育を観察する機会を定期的に設けていけ るとよい。 ・ミーティング等で気付いたことを出し合いながら実践を評価しあい、保育の質の向上を目指していけるとよい。				

項目	番号	内容	評価	実施していること
保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み	11	特に配慮を要する子どもを受け入れた場合、保育する上で、必要な情報が共有化されているか	A	ミーティング時に情報共有をし、対応を話し合っている。外部の専門機関の研修に参加し、その内容も共有をしている
	12	虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか	A	毎日の受け入れ時に視診・触診を丁寧にしている。送り迎え時の会話などからも早期発見に努めている。独自の児童虐待マニュアルを配備しており、全職員で研修をしている。
	13	アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができていますか	A	独自のアレルギー対応マニュアルを配備し、全職員で研修をしている。マニュアルに沿って、書類、環境、備品を整え、誰でもがわかるよう対応をしている。
<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギーの園児に対しては食事の際担任と給食スタッフでダブルチェックを行っている。 ・配慮を要する子どもへの対応は臨床心理士の巡回訪問を受けられる体制やアドバイスや相談できる仕組みが整っている。 ・事務所緊急持ち出し袋にアレルギー物質を示すカードとピスを用意しアレルギー疾患のある園児ごとにいれ災害時でも対応できるようにしている。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虐待は体にアザ等分かりやすい外傷は早期発見につながるが、ネグレクト等は発見が難しい。日々の保護者との連携を図りながら、家庭での様子や悩み相談をしやすい関係性を築いていく。 ・アレルギー対応は行っているが、完全除去対応ではない。除去対応が可能な献立をより充実させられるように給食チームと意見交換をおこないつつ検討していけるようにしたい。 				
苦情解決体制	14	保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか、また迅速に対応できる仕組みになっているか	A	苦情処理規程にそって、園内に苦情受付体制の掲示をしている。園だけではなく、第三者委員、公的機関にも要望や苦情を伝えられる仕組みになっている。普段の要望はコードモン内の連絡ノート機能や行事アンケートでも伝えることができる。
	<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入園説明会、進級説明会時に要望や苦情を伝えられる仕組みを保護者に伝えている。 ・玄関に意見箱を設置している。 ・ご意見ご要望に対しては運営本部とも共有し、迅速に対応できる仕組みが整っている。 ・年2回運営委員会を開催し、保護者のご意見ご要望をいただき、より良い園作りに繋げている。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別にいただく、要望、苦情に迅速に対応はできているが、全体アンケートのご意見に対しての対応を検討していく。 			
保育内容(あそび)	15	子どもが主体的に活動できる環境構成ができていますか	A	年齢や発達に応じたおもちゃをそろえている。自由遊びの時間はコーナー保育ができるよう工夫をしている。
	16	遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか	A	朝・夕は子どもたちが自由に遊べるように時間を設けている。
	17	動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか	B	野菜・花の栽培やカブトムシを育てたりしている。
	18	子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか	A	独自の能力開発プログラムの中に、絵描き歌、運動プログラム、文字や数字に興味をもてるテキストを準備している。またそれを毎日の保育に取り入れている。
	19	遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか	A	朝、夕の合同保育の時間だけでなく、異年齢保育をおこなっている。園児同士の関わりだけでなく、職員が仲立ちをしながら会話や関わりを持って保育をしている。
<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縦割り保育と横割り保育を組み合わせた保育環境の中で遊び、思いやりやリーダーシップを育てている。 ・仕切りを利用してコーナー遊びの充実を図っている。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部屋の使い方を子どもの成長発達や様子に合わせて見直していけるよう定期的に意見交換を行っていく。 				
保育内容(生活)	20	食事を豊かに楽しむ工夫をしているか	A	個々の食事に配慮しながら、完食の喜びを味わえるような調理方法や配膳方法を工夫している。職員も指導食を食べながら、食材についての話をしたりと楽しい雰囲気の中で食事ができるように声かけをしている。
	21	食事の場、食材、食器等に配慮しているか	A	献立は、季節の移り変わりに合わせ、旬の食材を使用し、行事メニューや物語メニュー郷土料理メニューなどを取り入れている。食器・食具は年齢に合ったものを使用している。
	22	子どもの喫食状況を把握して、献立の作成、調理の工夫に活かしているか。	A	給食スタッフは子どもたちの喫食状況を見て、残食状況もチェック・記録し、献立作成に反映させている。2週間ごとの繰り返しメニューにすることにより、切り方、味付けの工夫を改善できる。
	23	午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。	A	乳児はコードモン内の睡眠チェック表を使用し、睡眠時の体調をチェックしている。年長児は秋以降から午睡時間を減らしていくが、個々の状況で対応している。室温や採光の調節をし、心地よい眠りにつけるよう配慮している。
	24	排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。	A	各家庭と連携を取りながら、無理のないように進めている。トイレがリラックスしていける場所になるよう環境面の工夫をしている。
<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特にお歳児は形状等、個々に合わせた対応ができるよう家庭と園との連携を図り情報共有を行いながら進めている。 ・献立や郷土料理の由来を伝えることで食に興味を持てるようにしている。 ・食育計画は保育と給食スタッフで年間の計画を立てている。食育活動は給食スタッフと連携しながら進めている。 ・午睡時は時間ごとにアラームを設定し、睡眠チェックの徹底に努めている。 ・離乳食、トイレトレーニングとも、個々の把握が徹底出来るように表にまとめている。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・喫食状況について共有はしているが、給食スタッフの巡回を通しての気付きも参考に調理の工夫に活かしていく。 				

2025年度自己評価表

評価日：2026年2月1日

2023.07.24第三版

項目	番号	内容	評価	実施していること
健康管理	25	子どもの健康管理は、適切に実施されているか。	A	園児健康診断記録表や健康カルテに、個々の健診・測定の結果を記録している。既往症・アレルギー等については全職員で情報共有して対応をしている。
	26	感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。	A	独自の感染症マニュアルがあり、保護者にご協力いただく部分は園のしおりに記載をしている。
健康管理		<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症が確認されたときは、園内掲示とコドモン配信にて保護者にお知らせしている。 ・コドモンで登園前に検温やノート送信をして頂き体調に変化がないか確認できる仕組みになっている。 ・コドモンの未送信が増えているため、受け入れ前に確認し声掛けを行っている。 ・朝の受け入れ時の健康状態や保護者から家庭での様子を確認している。 ・お迎え時にも子どもの体調の変化などを伝えている。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コドモンの未送信が増えているため、保護者に徹底していただけるようお知らせしていく。 ・感染症対策について情報が更新されていくため、最新情報を把握していく。またスタッフ間で周知し適切な対応を行えるようにする。 		
衛生管理	27	衛生管理が適切に行われているか。	B	保育室・トイレ・厨房を毎日清掃し、掃除チェック表を用いて管理している。
		<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・流行している感染症に応じてアルコールと次亜塩素酸を使い分けている。 ・こまめに玩具の消毒を行っている。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策について情報が更新されていくため、衛生管理研修を定期的実施し最新情報を共有していく。 		
安全管理	28	安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。	A	毎月1回の避難訓練を通し、職員間でも常に迅速に対応できるよう話し合っている。全スタッフが救命救急研修を受講している。コドモンによる緊急メールおよび緊急掲示板で保護者への連絡がスムーズにできるよう配慮している。
	29	事故やけがの発生時及び事後の対応体制が確立しているか。	A	事故の振り返りシートを作成し、再発防止を園内で話し合い、実行している。近隣医療機関をまとめた一覧を作成し、迅速に対応できるようにしている。
	30	外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。	A	玄関はオートロックになっており、在園児の保護者のみにカードキーを付与している。来客やカードキーを忘れた場合は名前・顔確認後に施錠解除している。警備会社への通報システムがある。不審者対応訓練を年1回おこなっている。
安全管理		<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き取り訓練を実施し災害時の動きの確認を保護者にも参加していただき確認を行った。 ・AED使用を想定した救命救急研修を実施している。 ・保護者に引き渡す際は、お部屋の中で待てるよう職員間でも共有、徹底し子どもにも伝えている。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は消防署の救命救急研修、警察署の不審者対応訓練を実施した。連携した訓練を今後も計画していけるとよい。 ・保護者のお休みや在宅勤務でも伝達がない事が多くいざという時にスムーズに連絡が取れるか不安に感じることがある。保護者に緊急連絡先のお知らせをいただくことを周知をしていく。 		
人権の尊重	31	保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。	A	否定語を使わないよう職員間で話し合ったり、研修などで言葉づかいを振り返ったりしている。子どもの名前は呼び捨てにしない。
	32	必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。	A	仕切りを使うことでプライバシーを確保したり、好きな遊びや一人になれるコーナーを設置している。
	33	個人情報の取り扱いや守秘義務について職員に周知しているか。	A	守秘義務については全職員が入社時に説明・研修を受け、誓約書を提出している。保護者にも個人情報の取り扱いについて同意書をいただいている。個人情報は鍵のかかる書庫で管理をしている。
	34	性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。	A	発表会での役決めなどは子どもたちと話し合っ決めていく。父の日、母の日は感謝の日とし、父・母で分けることはしない。
人権の尊重		<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おむつ替えは固定の場所で行います、着替えの際は、ロールカーテンをしめる、全身裸にならない等プライバシー確保を徹底している。 ・人権擁護の研修を実施している。人権を尊重した保育ができていくか等、自己チェックシートを活用し振り返りを行っている。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の取り扱いについて、重要性を全体に定期的に発信していく。 		
保護者との交流・連携	35	個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行い、情報共有や相談対応をしているか。	A	送迎時に様子を伝えるだけでなく、年1~2回個人面談をおこなっている。またそれ以外でも相談があった際には個別に対応している。
		<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コドモンを活用し、連絡帳や連絡事項など、日常的に情報交換を行っている。 ・年1回個人面談を実施し、面談以外でも必要に応じて個別に対応している。 ・保育参観は日頃の様子を見ていただけるため、複数日程を設定し、保護者が参加しやすいように実施している。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営本部より、保護者支援通信や子育て掲示板等の情報配信を行っているがまだ周知が十分でない為保護者に周知を図っていく。 		

項目	番号	内容	評価	実施していること
保育所の専門性を活かした相談機能	36	地域住民への情報提供や育児相談に応じているか。	B	育児相談日(要予約)を設け、対応している。夏祭り等は園を開放し、地域住民の方も気軽に園を見ることができるようになっている。
		<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎月ホームページを更新し園の情報を公開している。また見学申し込みもホームページから行える仕組みになっている。 ホームページにQ&Aを掲載し見学が難しい方にもご確認いただけるようになっている。 園見学の際に個別に質問や相談に応じている。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度は見学にて地域の方と育児相談や情報提供を行ったが、次年度は遊びのひろばの開催で保育園で過ごす時間の中でより充実した時間が過ごせるようにする。 離乳食の試食や相談会を実施し保護者支援にもつなげていきたい。 		
保育所の地域開放	37	子どもと地域との日常的な交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。	A	近隣園と交流をしたり、地域のイベントやお祭りに参加している。お散歩時には地域の方に積極的に挨拶をし、交流するようになっている。
	38	利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。	A	定期的に見学日程を設け、対応している。また都合がつかない方には個々の希望日に対応をしている。ホームページにも詳細を記載し、メールでの問い合わせも可能としている。
		<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 近隣保育園、小学校との交流に積極的に参加している。 パレット保育園の姉妹園とは年間計画をたて、Zoomや遠足交流を図っている。 園見学はホームページから予約が行えるシステムになっている。 園見学以外にも、電話での問い合わせ等で個別に対応している。 しおりとQ&Aを作成して園情報を提供している。またホームページにも園内の写真を掲載し情報提供を行っている。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 近隣園、地域との交流は年長児が中心となっている。そのほかの学年でも無理のない範囲で交流する機会があるとさらに良い。 		
実習生・ボランティアの受け入れ	39	実習生・ボランティアの受け入れを適切に行っているか。	B	希望があった場合、できる限り受け入れをしている。受け入れ時には施設長が園の方針や注意事項等をしっかりと伝え、参加してもらっている。
		<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ボランティア受け入れの際には事前オリエンテーションを行っている。 配属クラス等は希望を尊重している。 ボランティア終了後は振り返りの時間を設けている。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実習生を受け入れた際の指導内容はマニュアルをもとに一貫性を持って指導できるとよい。スタッフ間で指導方法について意見交換や共有を行い学びある実習となるようにしていく 		
職場の人材育成	40	保育園の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。	A	募集媒体・ホームページ・面接時にパレット保育園の理念や方針が伝わるように説明している。また入社後も内部・外部問わず研修に参加している。
	41	職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか。	B	法人本部のさまざまな研修や外部研修を利用し、一人一人にあった育成計画にそって受講している。研修を受講した職員は研修報告書を作成し、内部研修にて他の職員と共有している。
		<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> スタッフは目標設定と自己評価を行い、施設長、副施設長と定期的に面談で確認している。 新入社員の育成担当を決め、ウェルカムチェックリスト育成シートを活用している。 園内研修で、実践研修を行っている。 キャリアアップ研修は全スタッフが受講していくように研修計画をたてスキルアップできるようにしている。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 園内研修の内容の充実やお互いの保育の評価、アドバイスできる機会を作っていく。 全スタッフが発言できる会議になる工夫をしていく。 		
職員の技術の向上	42	保育士等が保育や業務の計画及び記録を通してみずからの実践を評価し、改善に努める仕組みがあるか。	A	園内会議だけでなく、クラスや部屋の会議などを利用して、振り返りをおこない、計画作成に反映させている。
	43	保育士等の自己評価を踏まえ、保育所としての自己評価を行っているか。	A	年1回、自己評価シートを使い、会議などで振り返りをおこない、チェックをする。課題を見つけ、改善策などを意見交換している。また第三者評価も受審し、客観的な振り返りもおこなっている。
		<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎日、保育の振り返りを行っている。 園自己評価は個人で取り組んだ後全体で課題、対策について意見交換をし園運営に反映させている。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 会議では発言力に個人差がある為、全スタッフが活発に意見交換が行えるよう、会議の雰囲気や意見交換の方法を工夫し会議の質をあげていく。 		
経営管理	44	事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。	A	法人本部にて最新情報を入手し、共有をしている。職員採用時には法人本部にて初期研修をおこない、個人情報の遵守、倫理について学んでいる。
		<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎月発行される運営要項は、園内研修やクラス会議等で活用し保育に活かしている。 運営本部より毎月発行される最新情報が掲載されたGニュースは全スタッフで回覧し情報共有している。 新年度にハンドブックの読み合わせを行い、共通理解を深めている。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> スタッフの理解を深めていくためにハンドブックや日常業務の中で気付いたことを定期的に会議等で議題として話し合っていく。 		

2025年度自己評価表

評価日：2026年2月1日

2023.07.24第三版

項目	番号	内容	評価	実施していること
園目標や自己評価結果に対する反省・課題 (事業報告書へ)		園目標である【PDCAサイクルの確立】に向けて園目標と自己目標を紐付けて立てることにより具体的な目標設定となり、同じ方向性で保育に取り組むことができた。日々の保育の振り返りの定着、園内会議、昼礼での情報共有、意見交換の質の向上を目指し取り組んできたことで保育の質の向上につながった。 また、課題としては、保育所の専門性を活かした相談機能として地域住民への情報提供や育児相談に応じていくのか考えていく必要がある。		